

## 平成30年度

### 指定障害福祉サービス事業所どんぐり事業計画

国では社会福祉事業のあり方等の議論がなされ、さらなる社会貢献のあり方、障がい者福祉の充実を図るなどの事業の展開が望まれています。

新しい制度の下、役員体制や社会福祉事業のあり方を改善してきたところですが地域の関係機関や福祉サービス事業所との連携を引き続き進めていき地域福祉の担い手としても社会に貢献することを進めてまいります。

福祉サービス事業所どんぐりとしては「就労継続支援B型」の事業の充実をはかり、利用者の社会生活が円滑で安心したものになるよう他の事業所との連携を進めていきます。

さて、事業を安定させるため、利用者の確保と各々の利用者に寄り添う支援及び日常生活の向上のため各種福祉サービスにつなげること、職員教育及び障がい者支援の研修、充実ともにつとめます。

また利用者の工賃の安定と向上化を目指し企業開拓及び自主製作品の開発に取り組めます。

|             |    |   |
|-------------|----|---|
| 1：所在地       | 本部 | 広島県福山市新市町大字常1064番地4<br><br>広島県福山市新市町大字常1067番地2<br>広島県福山市新市町大字常1067番地4<br>広島県福山市新市町大字常1067番地6<br>広島県福山市新市町大字常1067番地7<br>広島県福山市新市町大字常1067番地11 |
| 2：利用定員      |    | 20人（実登録人員25人）   |
| 3：職員定数      |    | 常勤職員 9人<br>非常勤職員 1人   |
| 4：事業開始予定年月日 |    | 事業開始平成30年4月 1日<br>事業完了平成31年3月31日  |

## 5：事業運営基本計画

- ①別紙年間活動計画に基づき運営を行い、目標達成できるよう努めます。
- ②防災訓練・避難訓練等を実施し非常事態に備えます。
- ③年2回の健康診断を行い、健康管理のため日々健康及び整容チェックを行います。
- ④各種研修会に参加し事業所内職員研修を行い、日々の職員会議および職員間の情報の共有、職員の質の向上に努めます。
- ⑤利用者及び利用者家族の要望や相談・各種苦情に積極的に取り組みます。

## 6：利用者の処遇

### (1) 目的

様々な障がいの為、就労することが困難な利用者に、本人の意向をききながら、多様な福祉サービスを利用して個人の尊厳を保持しつつ、自立した地域生活を送れるよう支援します。

### (2) 支援内容

利用者の個別支援計画に基づき基本的生活習慣を身につけていただけるよう環境作りの整備をし、関係機関との連携をしながら安定した地域生活ができるよう次の支援を行います。

#### ①生活支援

健康管理を含め生活習慣の確立に向け、近隣のサービス事業所との連携により利用者個々人に寄り添う支援を行います。

#### ②作業支援

出来る作業を増やすために作業の細分化を進め、作業を通じて仕事に対する姿勢と意欲および自信が持てるよう、個々人に応じた支援をします。

#### ③余暇支援

事業所内および事業所外の余暇活動を通して生きる喜びや楽しみを感じられるよう、また人生の糧となるよう支援します。

(3) 作業内容

受託加工 紙工品の加工・縫製品の加工

受託解体 パソコン等の解体

リサイクル リサイクル品の仕分け、解体分別・ニチエー

自主製作品 野菜、花・食品加工

7：健康管理

年2回健康診断

健康相談

8：防災計画

大規模災害時における福祉避難場所の設置運営

年2回防災避難訓練

随時避難場所確認

9：日課

8：30～ 開所・送迎による通所

9：30～10：00 健康チェック・朝礼・ラジオ体操

10：00～12：00 作業

12：00～13：00 休憩

13：00～15：00 作業

15：00～15：10 休憩

15：10～16：20 作業

16：20～16：30 掃除・終礼

16：30～ 送迎による退所

～17：30 終業

10：資金計画

別紙資金収支予算書のとおり